



勇建設株式会社 環境報告書

Environmental Report 2024

さっぽろふるさとの森協定 手稲山口緑地(札幌市手稲区)

ゼロカーボン社会の実現を推進します



勇建設株式会社は、昭和31年4月に社員20数名をもって創業して以来、68年の年月を北海道における社会資本整備を通じて地域社会の発展に寄与してまいりました。

当社が経営理念とする「堅実な経営」と「誠実な施工」に努め、「技術力と総合力の向上」を目指して、港湾建設工事をはじめとして土木全般にわたり事業を展開しております。

環境マネジメントシステムは、平成16年12月22日にISO14001認証を取得し、今年で20年が経過いたしました。

その間、事業活動を通じて自然との共生に努め、環境保全に取り組み、地域社会の期待と要請に応えてまいりました。

また、勇建設(株)では、10数年前からCSRを取り入れた企業経営を進めており、「世の中をよりよくしていくことで、企業もいっしょに発展していこう」という考え方のもと、コンプライアンスの徹底や安全・品質の確保、社会貢献活動等とあわせて、環境基本方針を定めて、環境保全活動を一層推進してきました。

とりわけ、世界的な課題である温室効果ガス対策について、当社では環境方針のもとISO14001シリーズを認証取得し、電気やガス使用量の削減、ハイブリッドカーの導入など、主に事業活動で排出される温室効果ガスを減らす取組を推進してきました。

政府は2020年10月に「カーボンニュートラル」を宣言し、北海道では「ゼロカーボン北海道」として、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを目指して取り組みを進めています。

当社においては、これらの実現を推進していくため、従来の取組を一層充実していくとともに、令和5年度より森林の育樹活動やグリーンカーテンの展開など、本社、作業所において、温室効果ガスの吸収量を増やしていく取組などに幅を広げて、相対的な排出量の抑制を加速していきます。

これからも、持続可能な循環型社会の形成に貢献するという信念を持ち、環境活動を引き続き実践していく所存であります。

ここに、2023年度の環境活動を「勇建設株式会社 環境報告書2024」として、取りまとめました。

ご一読いただき、皆様のご理解とご支援、忌憚のないご意見を頂ければ幸いです。

2024年7月1日

勇建設株式会社 代表取締役社長 坂 昭弘

CONTENTS

1) 勇建設株式会社	P03
・会社概要	P03
・組織体制	P04
2) 環境マネジメントシステム	P05
・環境方針	P05
・2023年(R5)の運用状況	P05
・環境マネジメントシステム登録内容	P06
・認証の経緯	P06
3) 2023(R5)年度 環境活動	P07
・オフィス業務目標	P07
・工事施工業務目標	P09
・維持管理項目	P11
4) 「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた取組	P14
・これまでの取組	P14
・令和5年度 新たな取組	
「グリーンカーテンプロジェクト」	P15
本社	P15
屯田茨戸通作業所	P16
厚田増殖場作業所	P16
屯田高架橋作業所	P17
環状通道路改良作業所	P18
「Hokkaido 海のクリーンアップ大作戦」	P19
5) 工事施工時の環境への配慮	P20
・周辺環境への配慮	P20
・市街地での施工における粉じん防止対策	P20
・営農地近接での施工における粉じん防止対策	P20
・廃食油の収集・リサイクルへの取組	P20



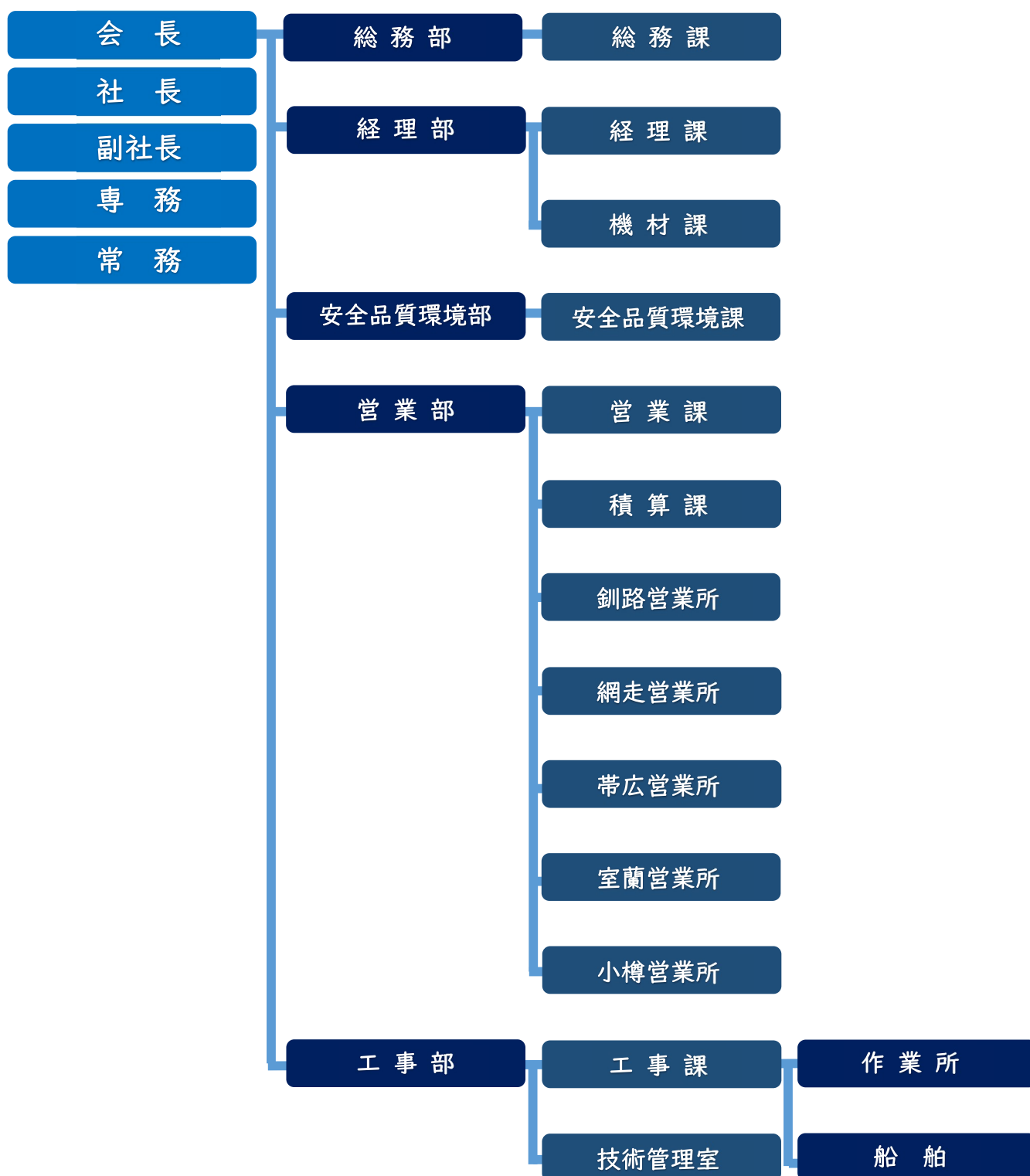
1) 勇建設株式会社

会社概要

代表取締役会長	坂 敏弘
代表取締役社長	坂 昭弘
設立	昭和31年4月
建設業許可	北海道知事許可（特-4）石第19725号
資本金	1億円
従業員数	96名（令和6年4月1日現在）
本社所在地	北海道札幌市中央区北6条西14丁目4番地 電話（011-221-0171） E-mail:isami@isami.com
営業所所在地	釧路、網走、帯広、室蘭、小樽
関連会社	北弘機工株式会社、北勇産業株式会社



組織体制





2) 環境マネジメントシステム

環境方針

自然との共生に努め、環境保護・環境保全に貢献するため、以下の活動を積極的に実施する。

- 1, 環境パフォーマンス向上を目指し、環境マネジメントシステムを運用、維持し、継続的改善を図る。
- 2, 当社の事業活動の全ての段階で環境に与える影響を全従業員が認識し、環境負荷の低減と汚染の予防を目指し、環境保護・環境保全活動を実践する。
- 3, 環境に関連する法規制、顧客及び地域社会等の要求事項を順守し、地域社会との協調に努める。
- 4, 当社の環境活動に関わる環境保護・環境保全行動で、次の項目の環境目標を設定し展開し、必要時に見直す。
 - (1) 工事施工における環境負荷の低減
 - (2) オフィス業務における環境負荷の低減

2003年12月12日制定

2018年 9月 1日改訂

2023年(R5)の運用状況

法令順守状況

法規制を順守できなかったものや、法違反等の不具合はありません。

内部監査

本社部門、営業所部門、作業所部門の内部監査を実施した結果、不適合は0件、観察事項が5件発生しましたが、即時改善を行いシステムの運用に不順守な事項等は発生していません。

マネジメントレビュー

3月にインプット情報の報告・確認及び検証のため各部長が出席し「マネジメントシステム管理会議」が開催され、その後社長から見直し指示があり、必要な処置が講じられています。自然との共生に努め、環境保護・環境保全に貢献しています。

環境マネジメントシステム登録内容

審査登録機関	北日本認証サービス(株)<NJCS>
登録番号	NJE-017
初回登録日	2004年12月22日
NJCS 登録日	2007年7月24日
有効期限	2025年12月21日
適用規格	ISO14001:2015 (JIS Q 14001:2015)
登録範囲	建築(土木)に係る事業活動

認証の経緯

2004年 4月	環境マネジメントシステム運用開始		
12月	ISO14001:1996年版 認証取得『登録機関:SCOPE-MS』		
2005年12月	ISO14001:2000年版 移行		
2007年 7月	『登録機関:北日本認証サービス(株)』へ登録移行		
	毎年外部審査(略)		
2016年 9月	ISO14001:2015年版 移行		
2017年 9月	第1回定期審査	不適合 0件	観察事項 0件 推奨事項 0件
2018年 9月	第2回定期審査	不適合 0件	観察事項 0件 推奨事項 0件
2019年10月	第5回更新審査	不適合 0件	観察事項 2件 推奨事項 1件
2020年 9月	第1回定期審査	不適合 0件	観察事項 1件 推奨事項 1件
2021年 9月	第2回定期審査	不適合 0件	観察事項 0件 推奨事項 1件
2022年 9月	第6回更新審査	不適合 0件	観察事項 0件 推奨事項 0件
2023年 9月	第1回定期審査	不適合 0件	観察事項 0件 推奨事項 1件



3) 2023 (R5) 年度 環境活動

勇建設株式会社では、環境方針のもと全従業員が環境保全行動に取り組むため、当社の事業活動で環境に与える影響を認識し、オフィス業務部門、工事施工部門各々に環境目標を設定し、環境負荷を低減する努力を重ねています。また、紙・電力・都市ガス等における使用量の削減についても、日常の維持管理活動として取り組んでいます。ここに、2023年度の主な環境への取り組みをご紹介します。

2023 (R5) 年度 環境目標

環境負荷の低減をいっそう進め、「ゼロカーボン北海道」の実現を推進する。

オフィス業務目標

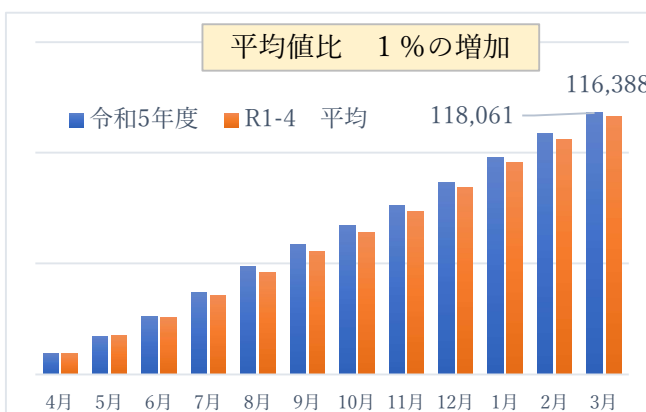
分類	実施項目	活動内容	令和5年度目標	指標
CO2 排出量の抑制	①コピー用紙使用量の削減	電子データの活用などによりペーパーレス化を推進	部門ごとに検討、実施	各部門1項目以上
	②電気使用量の削減	不要箇所の消灯の徹底等により削減	CO2 排出量 平均値以下	令和元年度以降の 平均値
CO2 吸収量の増加	③コミュニティーガーデンの実施	5月～11月まで維持管理	継続推進	毎月実施
	④「さっぽろふるさとの森づくり」の参加	6月 夏季活動(下草刈り) 10月 秋季活動(枯枝払い)	実施	***
	⑤「札幌水源の森づくり」の参加	森づくりイベントへの参加	参加	***

目標値の指数を、令和元年以降の平均値としており、「コピー用紙使用(購入)量」は27%の削減、電力使用量は平均値と比較すると1%増加という結果になっています。今年度より、電子データの活用やワークフローを利用したことによりペーパーレス化が推進され、昨年度と比較し大幅な減少となっています。

① コピー用紙使用量(購入量)の削減



② 電気使用量の削減



③ コミュニティーガーデンの実施

勇建設(株)本社前の植樹帯にマリーゴールドをはじめとする花を植え、各部署が交代で毎日水やりを実施しています。(5月から11月まで毎年実施)



④ 「さっぽろふるさとの森づくり」の参加

札幌市との「さっぽろふるさとの森づくり協定」に基づき、山口緑地(札幌市手稲区)において、6月と10月に育樹活動を実施しました。(令和4年度からの5か年協定)



6月20日:夏季育樹活動(下草刈り)



10月11日:秋季育樹活動(枯れ枝払い等)

⑤ 「札幌水源の森づくり」の参加

創生川公園「狸二条広場」において開催された「札幌水源の森づくり2023」のイベントに職員が参加しました。



工事施工業務目標

分類	実施項目	活動内容	令和4年度目標	指標
CO2排出量の抑制	①i-Construction への取り組みを実施	i-Con による施工の効率化、建設機械の燃費性能等によるCO2削減	全作業所の80%以上実施	令和4年度82%実施
	②環境家計簿記載の個別の取り組みの実施	創意工夫等で実施可能な活動があれば取り組む	平均 10/33 項目以上実施	令和4年度10.2 項目実施
	③建設DXの推進	遠隔臨場による移動の削減（効果のある現場のみ対象）	全作業所の80%以上実施	令和4年度100%実施
CO2吸収量の増加	④実施可能な脱炭素活動への取り組み	創意工夫等で実施可能な活動があれば取り組む	努力目標	***
	⑤グリーンカーテンを設置	作業所事務所にグリーンカーテンを設置する。	3か所以上実施	***

① i-Constructionへの取り組みを実施

工事部、作業所において、ICT施工やDXの積極的運用を推進しています。

今年度施工の8作業所のうち、5作業所でICT施工を実施しており、ICT施工の実施率は62%となりましたが、全作業所において低燃費型や排対型建設機械を使用する等により、CO2の排出量を抑制しました。



地上型レーザーキャナーを用いた起工測量

② 環境家計簿記載の個別の取り組みを実施

作業所における取り組みを推進するため、令和4年度より環境家計簿（北海道開発局）に記載されている環境への取組を抜粋し「工事施工におけるCO2削減への取組 チェックリスト」を作成して、取組可能な項目のリストアップと現場での実践を進めています。

全33項目のうち、8作業所において平均12項目実施しており、目標は達成できました。

主な実施項目		実施率
「間伐材を使用した木製掲示板の使用」	木製掲示板を、カーボンオフセット活動を行っているメーカーを活用することにより、CO2削減活動に寄与する。	100%
「ソーラーパネルの利用（現場）」	工事用の電光標識等に使用する電力を、発電機や仮設電源の電力からソーラーパネルに変更し、燃料や電力使用量を削減し、CO2排出量を削減した。	89%
「発電機のポータブル電源への切り替え」	現場で使用する電光掲示板等の電源を、発電機からポータブル電源に切り替えることで、発電機の使用による燃料消費を抑制し、CO2排出量を削減する。	50%

③ 建設DXの推進

今年度施工の8作業所のうち、6作業所において社内検査や、監督員立会の段階確認等を遠隔臨場にて実施しました。（実施率75%）

また、ミーディングボードやARを活用し、下請け会社との打ち合わせや教育等を積極的に実施しています。



④ 実施可能な脱炭素活動への取組み

・さっぽろふるさと森づくり活動に作業所勤務の職員も参加しました。

（山本通跨線橋、北郷1条下水、屯田茨戸通、屯田高架橋、環状通道路改良）

・バイオディーゼル混合軽油（B5）を使用した産廃収集運搬車両を使用している産廃業者に収集運搬を依頼することによりCO2排出量を抑制しました。

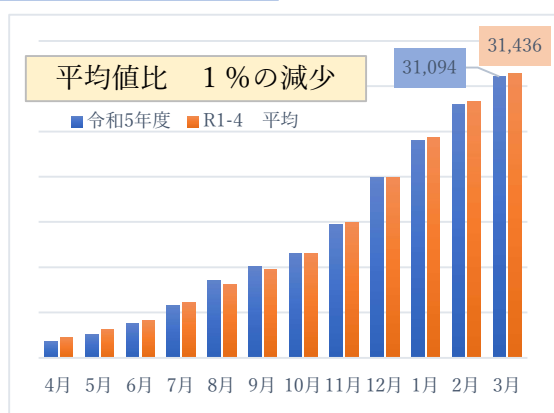
⑤ グリーンカーテンを設置

『「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた取組』項 参照。

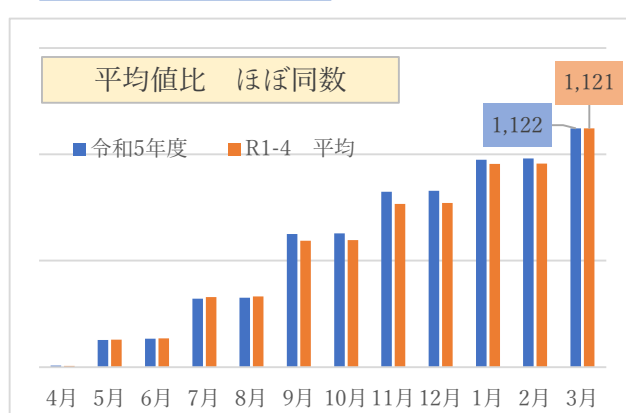
維持管理項目

分類	実施項目	活動内容
CO2 排出量の抑制	①都市ガス使用量の削減	使用量を削減し、資源の消費量を低減する。
	②水道使用量の削減	－ 〃 －
	③灯油使用量の削減	－ 〃 －
	④自動車燃料使用量の削減	－ 〃 －
	⑤環境物品購入の推進	環境にやさしい物品の購入を推進し、環境負荷を低減する。
	⑥地域貢献活動の実施/参加	地域社会に貢献する活動を促進し地域住民とのコミュニケーションを図る。
	⑦建設副産物の適正処理	建設副産物を適正処理し、再資源化を図る。
	⑧事務用品類の3Rの推進	不要事務用品を回収・管理し、再利用を促進する。

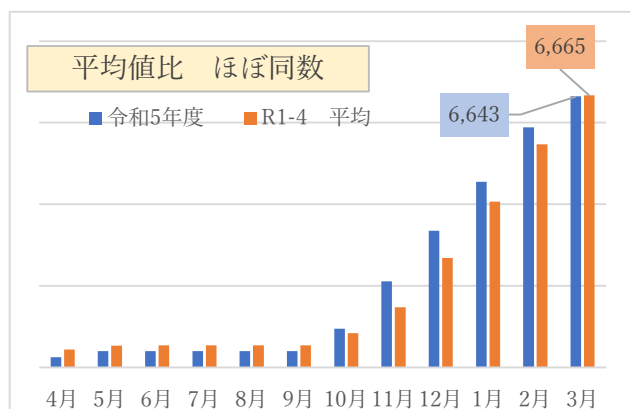
① 都市ガス使用量の削減



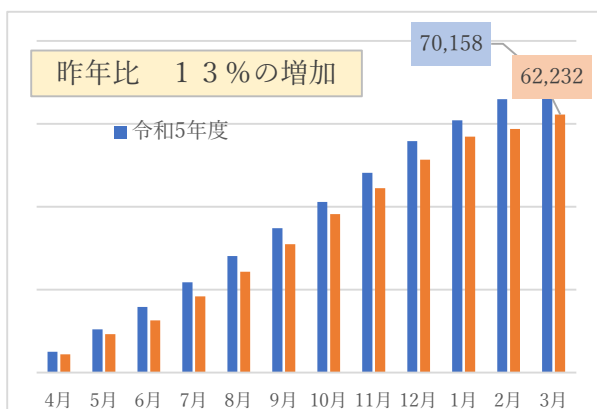
② 水道使用量の削減



③ 灯油使用量の削減



④ 自動車燃料使用量の削減 (R3 比)



⑥ 地域貢献活動の実施及び参加

※一部を抜粋して記載

本社	桑園地区清掃（創立記念日） 清掃活動（アダプト活動）（公園ボランティア） ウトナイ湖環境整備活動、冬期間の滑り止め砂撒き
室蘭営業所	草塩建設登別清掃活動参加 胆振総合振興局室蘭建設管理部クリーン作戦参加 営業所花壇の整備、大沢町ヤード草刈り
帯広営業所	道道クリーン作戦参加（帯広建協、十勝建友会主催） 営業所前植樹樹の維持管理（花植え、雑草とり） 町内会の資源回収協力
釧路営業所	営業所周辺の清掃、草刈りの実施 釧路船漕ぎ大会の手伝い
網走営業所	交通安全啓蒙活動への参加 網走湖クリーン作戦参加 網走港みなと見学会手伝い きたはなプロジェクト参加
小樽営業所	営業所花壇の整備 冬季間の凍結路面への滑り止め用ジャリの散布
厚田増殖場作業所	石狩湾新港東ふ頭の定期的な清掃活動
屯田茨戸通作業所	町内会の夏祭り会場の設営手伝いを実施
屯田高架橋作業所	地域のイベント（交通安全啓発・環境美化）に参加
栗山北広島線作業所	南幌小学校での駐車禁止区域に駐車禁止のマーキングを施工
石狩湾新港用地作業所	石狩市が管理する道路の道路舗装補修を実施
北郷1条下水作業所	日本下水道協会が開催する「下水道展」に出展
環状通道路改良作業所	施工箇所沿道のゴミ拾いを実施
恵庭基線通作業所	地域とのコミュニケーションツールとして防犯啓蒙看板を設置

石狩湾新港用地作業所

道路舗装の補修を実施



屯田茨戸通作業所

近所のお祭り会場設営のお手伝い



北郷1条下水作業所

下水道展に出展



恵庭基線通作業所

防犯啓蒙看板を設置



⑦ 建設副産物の適正処理

工事部の作業所巡視時や、安全パトロール時に契約状態、保管方法、処分方法等を確認し、適切に管理されています。

⑧ 事務用品類の3Rの推進

本社各部署、作業所等で余剰になった文房具や、再利用が可能な文房具を集め、新たに事務用品が必要になった際には、新品を購入せずに再利用するなどにより、3R活動に積極的に取り組んでいます。

3R リデュース（物を大切に使いごみを減らす）

リユース（使えるものは繰り返し使う）

リサイクル（資源・エネルギーとして再利用する）





4)「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた取組

これまでの取組

2004(H16)年	ISO14001の取得 さっぽろエコメンバー登録
2010(H22)年	小学校周辺清掃奉仕作業への参加(宮の森小学校) 河川美化活動への参加(鴨々川清掃)
2015(H27)年	勇建設コミュニティーガーデン活動開始
2016(H28)年	創立60周年記念事業植樹活動(大通公園4丁目・ライラック植樹) ウトナイ湖環境保全活動開始
2017(H29)年	ハイブリットカー導入開始 植樹活動(小金湯さくらの森)
2019(R1)年	いさみ号エンジン載せ替え(A重油から軽油へ変更)
2020(R2)年	4Rの推進開始(再利用棚の設置)
2021(R3)年	札幌市生物多様性さっぽろ応援宣言への登録
2022(R4)年	ゼロカーボン北海道チャレンジプロジェクト登録 北海道クールアースデー参加 北海道グリーンビズ認定登録 さっぽろふるさとの森づくり協定締結、活動開始 ゼロカーボンチャレンジャー登録 植樹活動(小金湯さくらの森)
2023(R5)年	グリーンカーテンプロジェクト開始 Hokkaido海のクリーンアップ大作戦への参加



本社近郊 桑園地区における清掃活動(2016年～)



ウトナイ湖における環境保全活動(2017年～)

2023年(R5)年度 新たな取組

「グリーンカーテンプロジェクト」始動

作業所におけるゼロカーボンの取組を一層推進するため、各作業所の事務所壁面にツタ科の植物で緑被する「勇建設グリーンカーテンプロジェクト」、本社の他4作業所において実施しました。

本社にて種から育成させたのち、プランターに移植し、各作業所に設置しました。

グリーンカーテンの効果

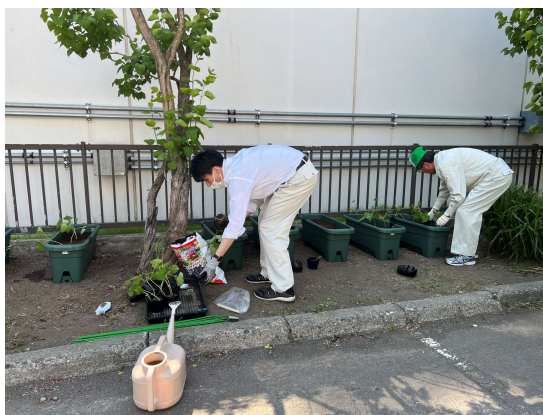
- ・CO2吸収量の増加
- ・事務所壁面等を植物で覆うことにより、日射エネルギーを約 80%カットし事務所周囲の表面温度の抑制、葉の蒸散作用で放射熱の抑制効果のほか、植生を施すことで精神的な安らぎを享受



「本社」

本社において種まき・育成し、プランターに移した後に、各作業所に設置しました。

本社屋上には朝顔を設置しました。



「屯田茨戸通作業所」

屯田茨戸通作業所には、6月1日に合計5プランターを設置しました。

日当たりのよい、南側に設置したため、ぐんぐん成長し、地域貢献として作業所の隣の公園で開催された、ご近所のお祭りの際に、こども達に収穫体験をしてもらい好評でした。



「厚田増殖場作業所」

厚田増殖場作業所には、5月30日に合計3プランターを設置しました。

日当たりのよい場所ではあったのですが、設置場所が海岸であったため若干潮風にやられてしまいましたが、モロッコインゲンは収穫することができました。





「屯田高架橋作業所」

6月6日に合計4プランターを設置しました。

日当たりがあまりよくない、北側に設置したのですが、ゴーヤはぐんぐん育っていました。

歩道から見える位置に設置されているため近くに住む小学生などの通行人にも見てもらえました。



「環狀通道路改良作業所」_____

厚田増殖場作業所が終了した際に、既設のプランターを7月25日に移設しました。

南側に設置したためか、短期間ではあったものの、最終的にはゴーヤが屋根までぐんぐん育ちました。



新聞揭載_____

北海道通信社(8月2日掲載) 建設新聞社(8月10日掲載)

建設新聞社(8月10日掲載)

[illegible]

「Hokkaido海のクリーンアップ大作戦」に参加

ゼロカーボンなどSDGsの取組を推進するため、全道の46カ所の海岸で一斉清掃を行う「Hokkaido海のクリーンアップ大作戦!」が開催されました。(主催:生活協同組合コープさっぽろ)

海工事を担っている勇建設として、海の環境保全活動にも積極的に取り組むべきと考え、海工事を行う作業所と本社から10名が参加しました。(本社役職員8名、石狩湾新港用地作業所1名、厚田増殖場作業所1名)





5) 工事施工時の環境への配慮

「周辺環境への配慮」

作業所では、工事により発生する騒音や振動を可能な限り小さくするため、低騒音・低振動型の重機を使用するとともに、騒音・振動計を設置してリアルタイムで計測し周辺環境に与える影響を低減しています。その他の活動を一部、ご紹介します。

「市街地での施工における粉じん防止対策」

R5環状通道路改良作業所

当現場は市街地での施工であり、粉じんによる公衆災害を未然に防止する必要があるため、エンジンカッターの使用時には集塵機能付きのエンジンカッターを使用しました。集塵機能により、切断時の粉じんを従来と比べ90%以上抑制することができました。



「営農地近接での施工における粉じん防止対策」

R5屯田茨戸通作業所

当現場は営農地が近接していることからバイオマスの主原料とし土壌に害を与えない「フライネットR」を粉じん防止対策として使用しました。散布後に乾燥することで土壌粒子を結合し固めるため、その後の散水養生の回数も減らすことができるため、CO₂排出量の削減にもつながりました。



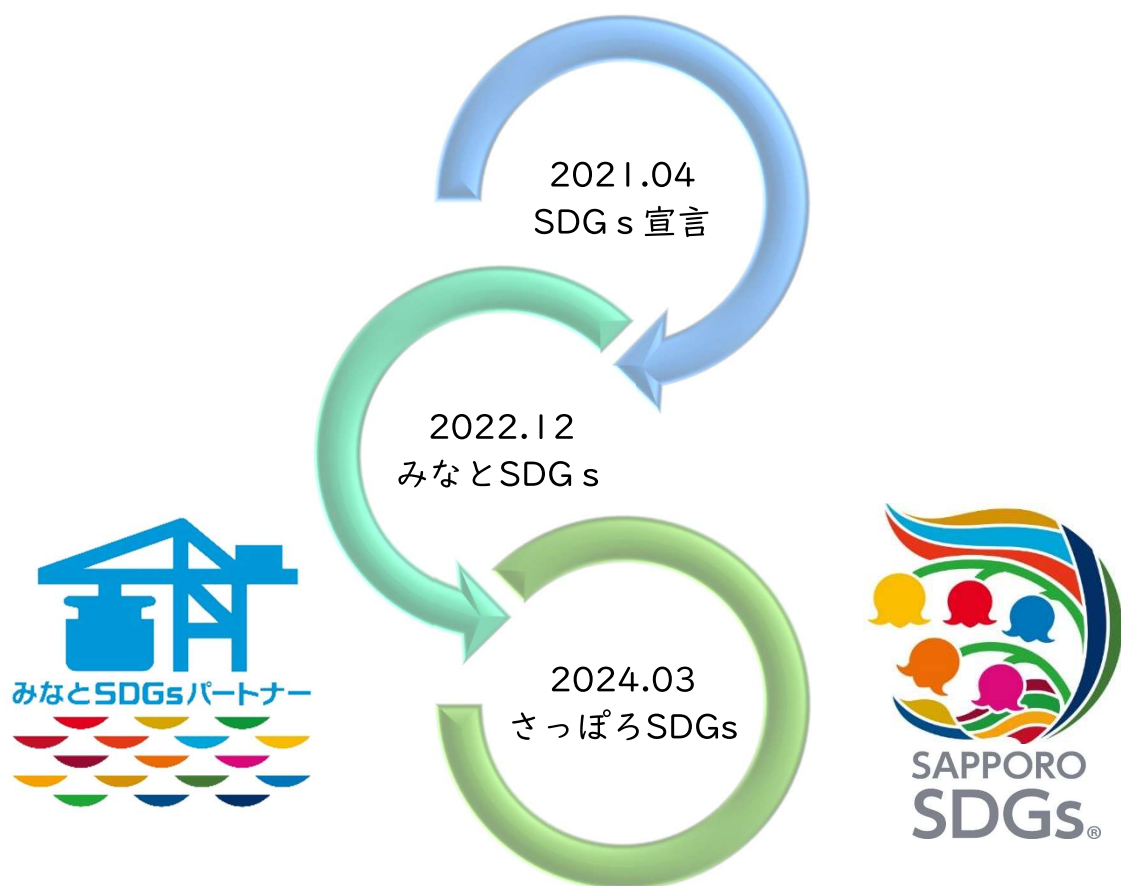
「廃食油の収集・リサイクルへの取組」

R4北郷一条東橋作業所

ご家庭で不要になった廃食油をペットボトルなどに入れて現場まで届けてもらい、専門業者へと引渡しバイオディーゼル燃料に精製し再利用する活動に協力しました。軽油同様に含有有害物質が少なく、硫黄酸化物(SO_x)がほぼ発生せずに環境にやさしい燃料です。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



環境報告書2024(2023年度活動報告書)

問い合わせ先/勇建設株式会社 安全品質環境部 TEL/011-221-0171 FAX/011-231-0209